



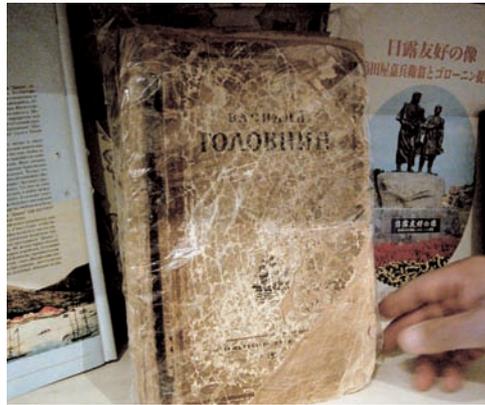
## 国後島の社会教育施設

今年の5月にビザ無し交流事業の団員に採用され、国後島と択捉島に派遣されました。私は北方四島に行くのは初めてです。日程は視察や交流事業がほとんどを占めますが、視察先に資料館や図書館といった社会教育施設が含まれていました。私も資料館に勤務していることから、これらの施設の内容が大変気になっていました。

国後島古釜布では郷土資料館と図書館を視察しました。郷土資料館では、子ども学芸員(写真1)が対応してくれました。ここでは自然資料や考古資料が中心に展示されていました。考古資料は縄文土器やオホーツク式土器など道東地方と同じタイプの土器が展示され、古代から道東と国後島は同じ文化圏であったことを再認識しました。また図書館では本の展示をっており、古そうなゴロウニン著「日本幽囚記」と根室金刀比羅神社を開いた高田屋嘉兵衛の故郷である兵庫県五色町(現在は洲本市)のパンフレットが並べられていました(写真2)。ゴロ



▲写真1：古釜布郷土資料館にて



▲写真2：古釜布図書館の展示(中、ゴロウニン「日本幽囚記」、右、五色町のパンフレット)

ウニンはディアナ号という船の艦長で、1811年に国後島の測量中に幕府に逮捕され、松前に監禁されました。このとき、高田屋嘉兵衛とディアナ号副艦長のリコルドが協力してゴロウニンの開放を行い、外交問題を収束させました。民間人である高田屋嘉兵衛が外交問題を解決した偉業の影には、リコルドとの間に固い友情や信頼関係があったといわれます。

現在、四島に住むロシア人と日本人の友好が推進されていますが、リコルドと高田屋嘉兵衛の関係はまさにその象徴であるといえます。それを主張するかのような古釜布図書館の小さな展示に大変感銘を受けました。嘉兵衛とリコルドがそうであったように、私たちと四島のロシア人との友好が外交問題の解決につながることを願ってやみません。

(学芸員 猪熊樹人)

### 人の動き 平成19年12月1日現在

前年同月比  
人口 **30,887** 人 (-526)

男 **14,841** 人 (-262)

女 **16,162** 人 (-264)

世帯 **13,075** 世帯 (-74)

11月の誕生 **20** 人 (-8)

発行・印刷 根室市役所情報管理課・根室印刷(株)

編 集 後 記

のを酔い■がをい■  
夢確いま「見まあけ  
に認しす「皆るす。ま  
なでれが富さこ。ま  
なっきて、士んと近  
て、お二はが年、お  
こ、毎正鷹いなく、お  
こと年月三かく初め  
が家の茄がな夢で  
私族お子でりなう  
のの神「すまるう  
一健酒とかかした  
(ト)番康に言「たの

### 「広報ねむろ」広告募集の案内(有料)

「広報ねむろ」への広告を募集しています。掲載を希望される事業者の方は、下記の問合せ先までご連絡ください。

広告掲載料等

2種(縦45mm 横56mm) 12,600円から

〈カラー刷・単色刷〉有

問合せ先

根室市役所総務部情報管理課広報広聴係 ☎(23)6111番 内線2357